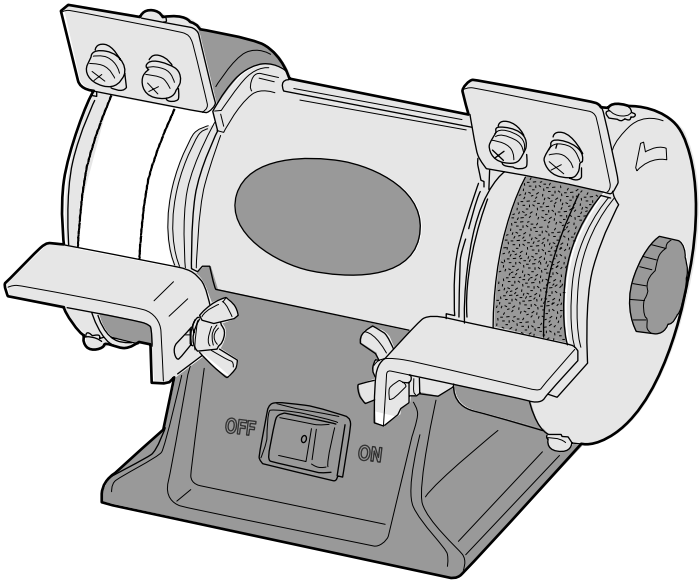
RYOBI

ミニ卓上グラインダ

TG-30

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～6
■各部の名称・仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
■付属品・用途・別販売品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
■作業前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・ 9～10
■操作方法 ・・・・・・・・・・・・・ 11～12
■作業方法 ・・・・・・・・・・・・・ 13～14
■保守と点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

このたびは、リョービミニ卓上グラインダをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

6985137

安全上のご注意

● 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

● ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠ 警告」・「⚠ 注意」 以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

● 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警　告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - ・作業場は十分に明るくしてください。
   - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

⚠ 警　告

6. 無理して使用しないでください。
   ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
   ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
   ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
   ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
   ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
   ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
   ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
   ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

⚠ 警　告

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
    - 使用しない、または修理する場合。
    - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
    - その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
17. 不意な始動は避けてください。
    - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - 常識を働かせてください。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
      取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
      スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
    - スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
    - この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

⚠ 警　告

22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申しつけください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ミニ卓上グラインダご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ミニ卓上グラインダをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

1. 必ずアース（接地）してください。
   ・感電の原因になります。
2. アース線をガス管に接続しないでください。
   ・ガス管に触れると爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
   ・表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。
4. 砥石、砥石カバー、ワークレストなどは、取扱説明書の指示に従い正しく取付けて使用してください。
   ・取付けが不確実な状態で使用しますと、けがの原因になります。
5. 使用する砥石は、最高使用周速度15m/s以上の正規の砥石を取付け、正しい使用面で研削してください。側面では研削しないでください。
   ・正規以外の砥石を使用したり、また側面で研削すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
6. 砥石にヒビ、割れがないことを確認してから使用してください。
   ・異常があると砥石が破壊し、けがの原因になります。
7. しっかりした台に固定して使用してください。
   ・機体をボルトナットなどで作業台にしっかり固定してください。機体が不安定ですと、けがの原因になります。
8. 水、研削液などは使用しないでください。
   ・乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
9. 使用中は、工具類（砥石など）や切り屑などに手や顔などを近づけすぎないでください。
   ・けがの原因になります。
10. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
    ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（砥石など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
    ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 【事業者の方へ】砥石の取換え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令	労働安全衛生規則	第36条
	労働衛生特別教育規程	第2条

⚠ 警　告

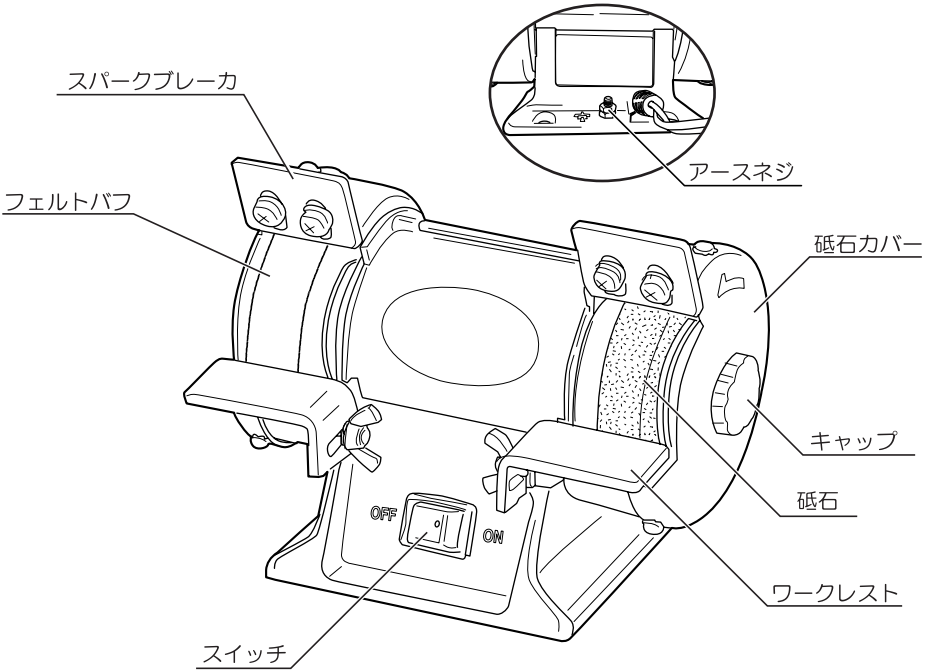
13. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
    ・火災ややけどの原因になります。

⚠ 注　意

1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
    ・確実に取付けていないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
    ・砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 工具類（砥石など）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
    ・感電の恐れがあります。
4. コードを引っ張たり、引っかけたりしないようにしてください。
    ・材料や機体などを落としたときなど、けがの原因になります。
5. 試運転を励行してください。
    ・試運転時間は、　＊砥石交換のとき　　３分間以上
    　　＊その日の作業始めのとき　　１分間以上

各部の名称・仕様

●各部の名称



●仕様

周波数	50Hz	60Hz
電源	単相・交流 100V	
電流	0.5A	
消費電力	50W	
無負荷回転数	(n_o)3,000min^{-1}	(n_o)3,600min^{-1}
定格時間（連続使用）	15 分	
砥石寸法	(外径)75mm ×(内径)12.7mm ×(厚さ)13mm	
フェルトバフ	(外径)75mm ×(内径)12.7mm ×(取付厚さ)10mm	
コード長さ	1.8m	
機体寸法	(長さ)165mm ×(幅)109mm ×(高さ)128mm	
質量	1.9 kg	

付属品・用途・別販売品

●付属品

・砥石 A80（本体取付）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
(外径)75mm ×(内径)12.7mm ×(厚さ)13mm
・フェルトバフ（本体取付）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
(外径)75mm ×(内径)12.7mm ×(取付厚さ)10mm
・スパークブレーカ（取付ネジ含）・・・・・・・・・・・・・ 2
・両口スパナ　10mm × 8mm ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

●用途

・各種金属の研削、研磨作業
※フェルトバフの研磨作業の際に、別販売品のツヤ出しワックスを併用されますと
よりツヤのある仕上がりができます。

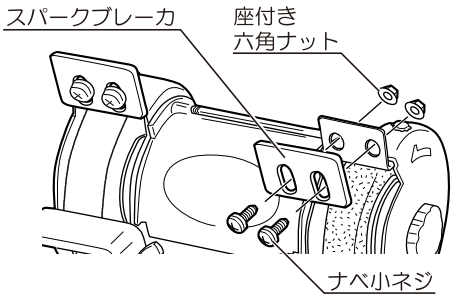
●別販売品

・砥石　A36、A80 、GC120
(外径)75mm ×(内径)12.7mm ×(厚さ)13mm
・ミニフレキシブルシャフト
・ツヤ出しワックス

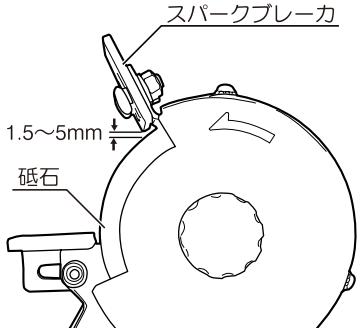
作業前の準備

●スパークブレーカの取付け

・スパークブレーカを左右の固定側砥石カバーに取付けます。
右図の順に取付け、座付き六角ナットを付属品の両口スパナ8mmで固定し、お手持ちの⊕ドライバでナベ小ネジを締付けます。



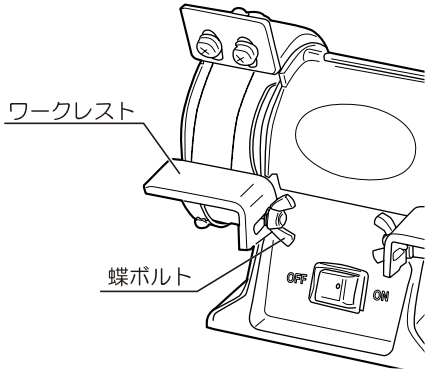
・スパークブレーカは、作業者に火花が当たるのを防止するための物で出来るだけ砥石（フェルトバフ）に近づくようにしてください。スパークブレーカと砥石（フェルトバフ）の隙間は、1.5～5mmに調整してください。
（注）砥石（フェルトバフ）の摩耗に合わせ、ナベ小ネジをゆるめてスパークブレーカの調整を行なってください。



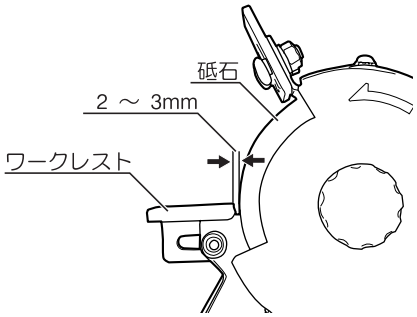
●ワークレストの調整

・作業前に蝶ボルトをゆるめてワークレストを水平位置に調整します。調整後は蝶ボルトをしっかり締付けて固定してください。

・ワークレストは加工物をしっかりと保持するために、出来るだけ砥石（フェルトバフ）に近づくように調整してください。ワークレストと砥石（フェルトバフ）の隙間は、2～3mmに調整してください。



（注）砥石（フェルトバフ）の摩耗に合わせ、蝶ボルトをゆるめてワークレストの調整を行なってください。
（注）ワークレストを前方いっぱいまで調整しても、砥石との隙間が3mm以下にならない場合は新しい砥石と交換してください。

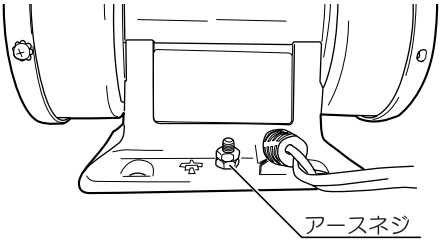


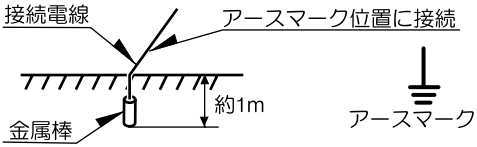
●漏電しゃ断器について

・使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器を使用してください。
（労働安全衛生規則第333条、第334条. 電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条）

●アースについて

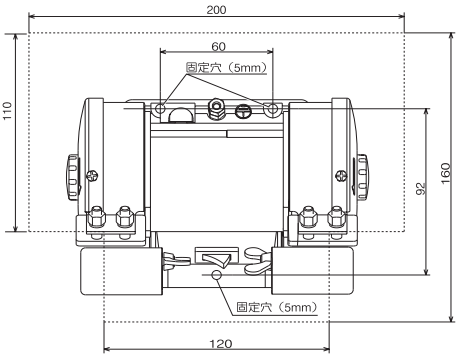
・感電事故を防止するため、本体後部に付いているアースネジよりアースを必ず取って安全な作業をしてください。
・金属棒を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。





●作業台などへの取付け

・機体は運転中、置かれた作業台などに多少でも傾斜があれば振動で動きます。安全に作業をするためにベースの3箇所の穴を利用して、M4のボルトなどで作業台に固定してください。
・取付位置、作業スペースは右図を参考にしてください。

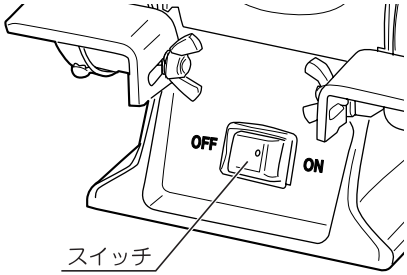


操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警　告
・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。

・スイッチ操作は、ON 側を押すとスイッチが入り、OFF 側を押すと切れます。

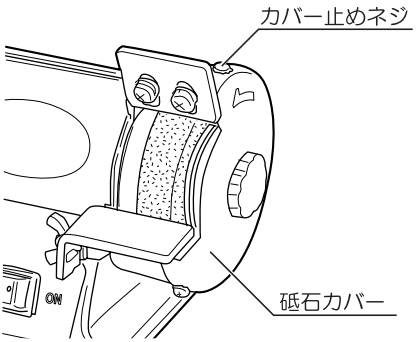


●砥石、フェルトバフの交換

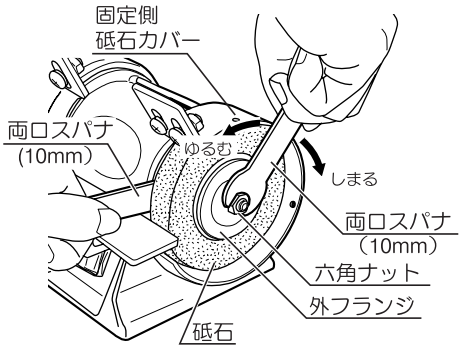
⚠ 警　告
・砥石、フェルトバフを交換するときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。 ・砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

（砥石の交換）

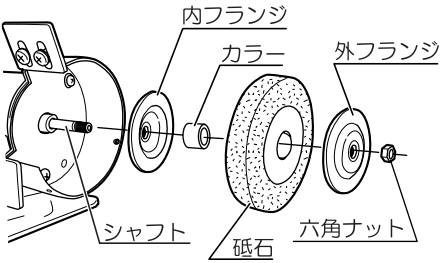
1. 砥石カバーを取外します。
   砥石カバーの周囲3ケ所のカバー止めネジをお手持ちの⊕ドライバでゆるめ、取外します。この際、ワッシャを落とさないように注意してください。



2. 六角ナットを取外します。
砥石と固定側砥石カバーの間のシャフト（面取り部）を付属品の両口スパナ(10mm)で固定し、六角ナットをゆるめます。六角ナットは砥石の回転方向に回すとゆるみます。
六角ナット、外フランジ、砥石の順に取外します。砥石の中央穴からカラーを取出してください。



3. 新しい砥石を取付けます。
スパークブレーカ、ワークレストを新しい砥石に接触しない位置に動かします。
(P9,10 参照)
シャフトにカラー、新しい砥石を入れます。つぎにシャフトの面取り部と外フランジ中央穴の平らな面を合わせてシャフトに外フランジを通し六角ナットで締付けて固定します。このとき外フランジの向きに注意してください。

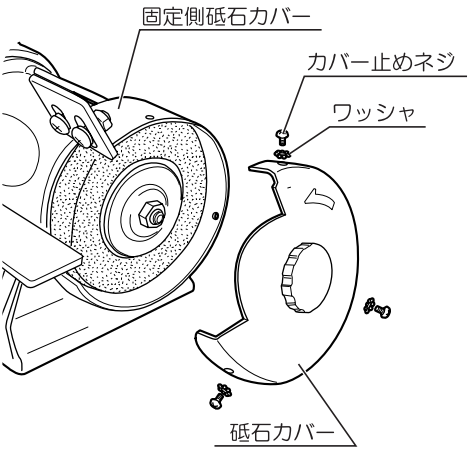


4. 砥石カバーを取付けます。
固定用砥石カバーと砥石カバーのネジ穴３ケ所を合わせて、カバー止めネジ3本で締付けて固定します。

5. ワークレスト、スパークブレーカを前記の要領で調整してください。（P9,10 参照）

（フェルトバフの交換）

・フェルトバフの交換は、砥石の交換と同じ要領で行なってください。フェルトバフ側の六角ナットは左ネジです。六角ナットは回転方向に回すとゆるみます。



作業方法

⚠ 警　告

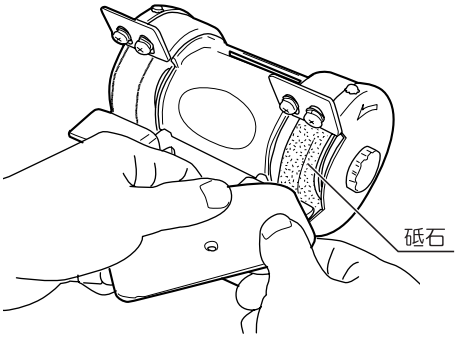
・スイッチを入れる前に､砥石の取付けにゆるみやガタがないことを確認してください。
・スイッチが切れていることを確認してから電源コンセントに接続してください。引火しやすいものの近くでは使用しないでください。また、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
・作業中は、保護めがねを着用してください。切粉が目などに入り、けがの原因になります。

⚠ 注　意

・研削中は、砥石カバーの前方に、熱くなった研削粉じん（火の粉）が勢いよく飛び出てきますので、十分注意をしてください。
・研削作業は加工物をワークレストにのせ、加工物をしっかり保持し正しい作業姿勢で行なってください。
・研削砥石の決められた使用面以外での使用はしないでください。特に平形の研削砥石は横からの力に弱いので、砥石の側面を使用しないでください。

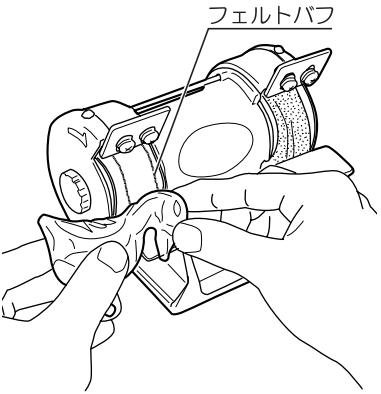
●研削作業

・研削作業は、加工物をワークレストの上に置き、しっかり保持して行なってください。
金属の研削作業は、砥石を使用して行ないます。



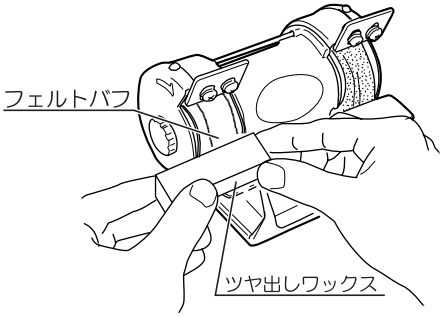
●研磨作業

・研磨作業（ツヤ出し作業）は、加工物をワークレストの上に置き、しっかり保持して行なってください。
・金属、塗装面の研磨作業（ツヤ出し作業）は、フェルトバフを使用して行ないます。
別販売品のツヤ出しワックスを併用するとよりツヤのある仕上がりになります。



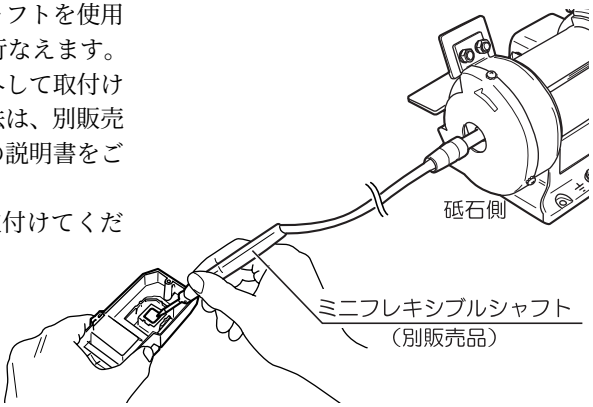
●ツヤ出しワックスの使い方

・スイッチをONにし、フェルトバフを回転させながらツヤ出しワックスを軽く押しあてフェルトバフに付着させます。
・ツヤ出し面をフェルトバフに軽く押しあて磨いてください。



●小さな細工加工

・別販売品のミニフレキシブルシャフトを使用して穴あけ、磨き、バリ取りが行なえます。
取付けは砥石側のキャップを取外して取付けます。詳しい取付方法、使用方法は、別販売品のミニフレキシブルシャフトの説明書をご覧ください。
（注）使用後は必ずキャップを取付けてください。



保守と点検

⚠ 警　告
・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

本社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111　FAX.(052)806-5141